

くるくる回るからくりおもちゃ
若林孝典さんと木のおもちゃづくり



これで夏休みの作業もバッチリ！完成を喜ぶ参加者

7月27日、町図書館で、木のおもちゃづくりワークショップ（木のおもちゃづくり主催）が開かれました。
今回は、木工作家の若林孝典さん（美作市）を講師に迎え、「からくりおもちゃ 遊園地の飛行機」を作りました。
歯車や機械の造りを木材で再現し、時計やからくりおもちゃなどを制作している若林さん。参加した子どもたちは、からくりおもちゃ



▲からくりおもちゃの魅力を語る若林さん▶お母さんと若林さんに手伝ってもらいながら、最後の仕上げ



の仕組みや作り方を聞き、若林さんや木のおもちゃづくりのスタッフの指導を受けながら、おもちゃを作り上げていきました。
飛行機の胴体や羽を糸のこで切り取る作業は、親やスタッフと一緒に慎重に…。部品の組み立ても若林さんのアドバイスを聞きながら飛行機のからくりおもちゃが完成。ハンドルを回すと飛行機がくるくと回りだし、子どもたちは満面の笑みを浮かべていました。

大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業
金曜ゴゴ～土曜ヨル 美味しい・楽しい交流イベント！

つながるマルシェ in える・もーる × 地ビールフェスタ in 米子

9月27日(金) 15:00～21:00
ジャズを聴きながら地ビールを！

28日(土) 10:00～21:00
マルシェ開店！9市町村の自慢が大集合！

※つながるマルシェは土曜 10:00～15:00
10月は、25日(金)・26日(土)に開催

会場: える・もーる1番街 ひまわり駐車場 (米子市角盤町 やよい跡地)

日野町自慢の産品も登場！

大山山麓と日野川流域の自慢の美味しい恵みが集合する「つながるマルシェ」と、各地の地ビールと絶品グルメが集合する「地ビールフェスタ」がコラボ！米子のひまわり駐車場を舞台に、土曜日は朝から、鳥取県西部9市町村自慢の朝どれの新鮮野菜や農水産加工品、新米、注目スイーツなどが登場します！ぜひ、家族そろってお出かけください。

9月の注目企画

朝どれ新鮮野菜、農産加工品はじめ、注目のジェラートショップ、ジビエのグルメも登場!!子どもたちのステージをはじめ、歌や笑いヨガなど9つの町の自慢をステージでも披露。本格的な「ミニたたら」実演にもご注目!各地域のゆるキャラも多数登場してにぎやかに開催します! また、新鮮野菜や名物グルメが当たるクイズ大会・縁起の良い餅まきも予定。地ビールフェスタは、JAZZを聴きながら美味しいひとときを!



昨年の様子

主催 / 角盤町商店街振興組合
協力 / 米子市・境港市・日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町ほか
問合せ / tunagarum@bss-kikaku.com



響く歌声、広がる地域のきずな

日野川合唱フェスティバル



来場者みんなで合唱する場面も。会場が一つに

日野川沿いで活動しているコーラスグループが一堂に会し、日ごろの練習の成果を発表する、第15回日野川合唱フェスティバル（日野川合唱連盟主催）が、7月28日、町文化センターで開かれました。

当日は、日野郡3町および伯耆町で活動する9つのグループが参加。日野町からは3つの合唱団が歌声を響かせました。

各グループはおそろいの衣装で登場し、童謡や唱歌などのさまざまな曲で息の合ったコーラスを披露。会場からは大きな拍手が送られていました。

間近に広がる星空に思いをはせて

奥日野★星空プロジェクト 星空観望会



仲田さん（右）自作の望遠鏡で星空観察

7月28日、滝山公園で、「奥日野★星空プロジェクト 星空観望会」（同実行委員会主催、ひの郷会共催）が開かれました。

これは、根雨出身の仲田和夫さん（大阪府大東市）自作の大型天体望遠鏡を使って、奥日野の満天の星空を楽しもうというもの。

当日は、親子連れなど約20人が参加。あいにくの曇り空だったものの、時折のぞく星空に望遠鏡をのぞき込みながら観察を楽しんでいました。

つかまえた〜。ふるさとに響く声

保育所でアユのつかみ取り



アユを片手に笑顔が弾ける園児たち

7月26日、ひのっこ保育所で、アユのつかみ取りが行われました。これは、自然に対する理解を深め、ふるさとへの愛情を育てたいと、町水産振興連合会（矢田貝繁明会長）の協力を得て毎年行っているものです。

5月には年長児が日野川でアユを放流したばかり。その間、大きく成長した約200匹のアユが放されると、園児たちは大歓声。勢いよく泳ぎ回るアユを元気に追いかけて、アユをつかまえると、「つかまえた〜」と笑顔をみせていました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第73回

ちん・どん・じゃん

今回は、方言というよりは風習のお話を。

皆さんは、「ちんどんじゃんん」、または「ちんどんじゃんん」「どんじゃらんちん」って何のことかご存知ですか？

これ、実は「葬儀」「葬連」のこと。お経の合間や出棺の時などに、「鉦」と「太鼓」と「シンバル」を交互に鳴らすことを、その音色からそのまま「ちん・どん・じゃんん」などと呼ぶようになったのです。

この風習、町内でもまだ行

われている地域があります。ここでは、出棺の際に、竹で作った龍頭を先頭に、地域の人たちが棺の後ろに並び、「ちんどんじゃんん」と鳴らします。

また、その際に、棺を3回ほど回すこともあります。これは、故人が家に戻ってこないよう、方向感覚を狂わせるためともいわれています。

最近では葬祭会館での葬儀が増え、昔ながらの葬儀は少なくなりましたが、地域文化の記録として、こうした言葉も覚えていきたいものです。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会